

事業番号	事業名	内容	対象外項目番号
	都市計画決定事業		
1	都市計画策定・企画調整事業	都市計画に関する調査、計画立案等に関する事	①
2	第7回線引き見直し事業	都市計画法第7条に基づく区域区分の見直しに関する事	①
3	都市計画決定手続き事業	ごみ焼却場の廃止及びびりサイクルセンターの決定、大磯駅自転車駐車場の廃止	①
4	都市計画審議会事業	都市計画審議会開催・運営に関する事	②
	まちづくり推進事業		
5	大磯町まちづくり条例事業	大磯町まちづくり条例の運用を行う。	②
6	まちづくり基本計画事業	大磯町まちづくり基本計画の運用評価及び計画の見直し検討を行う。	⑥
7	まちづくり審議会事業	まちづくり審議会の開催・運営に関する事	②
8	住居表示事業	住居表示関連業務全般	①
9	空き家、住環境施策事業	空き家、住環境に関する調査等の対応	⑤
	開発建築事業		
10	都市計画法第32条同意協議事業	開発行為に対するまちづくり条例に基づく指導調整	①
11	都市計画法43条申請経由事業	都市計画法に基づく申請の経由事務	⑦
12	建築確認申請経由事業	建築確認申請の経由事務	⑦
13	建築協定事業	建築協定に関する事務	⑦
14	開発事業紛争調停委員会事業	開発事業紛争調停委員会に関する事務	②
	景観づくり事業		
15	景観施策企画・調整・運用事業	景観施策の企画及び総合調整に関する事。	⑦
16	景観重要建造物事業	景観重要建造物の指定等に関する事	②
17	景観応援団事業	景観応援団の開催、事務	②
	耐震改修促進事業		
18	耐震改修補助事業	住宅の耐震診断及び耐震補強工事等の補助に関する事務、建築物震後対策推進に関する事務	-
	都市交通推進事業		
19	都市交通事業	平成23年度の地域公共交通会議の結果に基づき、町が神奈川県中央交通の路線バスを補助し運行する。また、交通空白区域の公共交通について、検討を行う。	-
20	地域公共交通会議事業	大磯町地域公共交通会議の開催・運営に関する事	②
21	歴史的建造物等整備事業		⑦
	公園運営事務事業		
22	都市公園運営事業	公園運営における各種事務処理、会合出席、公園緑地里親制度事務	②
23	公園緑地維持管理事業	既設公園緑地の清掃・除草・清掃ゴミの収集運搬、樹木の剪定、遊具の点検等	-
24	運動公園維持管理事業	指定管理者制度に基づき大磯運動公園の管理を行う。	-
25	児童遊園維持管理事業	山王児童遊園（なかよし公園）を適正に維持管理するため、委託による清掃等を行うとともに、遊具の安全点検等施設の維持管理を行う。	-
26	旧生沢プール跡地整備事業 （いくさわ西の池跡公園整備事業）	生沢プール跡地を地区住民のための広場として整備していく。	③
27	都市公園台帳作成事業	都市公園台帳が未整備な公園について、順次、都市公園台帳を作成する。	⑤
28	公園トイレ改修事業	六所公園、町屋公園トイレの改修工事を実施する。また、なかまる公園トイレの設計委託を実施する。	⑤
29	公園施設長寿命化対策事業	大磯運動公園テニスコートの人工芝の張替え工事を実施する。	⑤

	花とみどり推進事業		
30	花とみどり推進事業	町内の緑化に対する助成、公園におけるボランティア活動の助成	-
31	保存樹木事業	町内の特定樹木の保護	⑤
32	かながわトラストみどり財団事業	負担金支出、会合出席等	①
33	緑の基本計画事業	策定された緑の基本計画の運用	⑦
34	みどり基金積立事業	町に残された自然環境や歴史的環境を保全するとともに、緑化の推進を図る事業の財源とするため、必要な経費を積み立てた。	②
35	国土利用計画法事業	国土法届出に関する業務	①
36	公有地の拡大の推進に関する法律事業	公拡法届出に関する業務	①
37	社会資本整備総合交付金事業	社会資本整備総合交付金に関する事務	⑦
38	松くい虫被害対策自主事業	松くい虫の防除として、樹幹注入及び松の伐倒、また、抵抗黒松の苗木配布	-
39	課内庶務事業	文書照会回答、課内各種集計等	②
40	災害復旧事業	公園施設等が災害により、被害を受けたとき復旧等を行う。	①

予算事業名	耐震改修促進事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	耐震改修補助事業	係名	開発指導係
		事業番号	18
		事業開始年度	平成18年度

1.総合計画上の位置づけ

章	第1章 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第1項 安心なまちづくりの推進	認定番号	1-3
節	第1節 危機管理	事業名	建築物耐震改修等補助事業

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町耐震改修促進計画、大磯町住宅耐震化事業補助金交付要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	住宅の耐震化を促進することにより、「大磯町第四次総合計画」に明記されている「安全で安心なあたたかみのあるまちづくり」の実現に向けて、地震による建築物の倒壊から人命を守る				
対象 (誰を・何を)	昭和56年5月31日以前に建築確認済証を取得した住宅				
内容	耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化率を90%とすることを目標とし、昭和56年5月31日以前に建築確認済証を取得した住宅の耐震化事業に対する補助				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	2,917	1,185	3,446
	国庫支出金	千円	1,270	297	1,680
	県支出金	千円	553	195	760
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,094	693	1,006
	職員人数 (概算職員数)	人	0.35	0.23	0.32
	人件費計 (b)	千円	2,145	1,409	1,910
総事業費 (a)+(b)	千円	5,062	2,594	5,356	
事業費内訳 H 27 年度	講師等謝金：43千円 普通旅費：21千円 消耗品費：18千円 建築物震後対策協議会負担金：44千円 住宅耐震改修等補助金：3,320千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 耐震性のない住宅総数	戸	4,772	4,617	4,507
	②				
活動指標 (活動量)	① 耐震診断実施戸数	戸	7	4	7
	② 耐震改修実施戸数	戸	4	1	3
成果指標 (達成度等)	① 耐震化率	%	66.70	67.83	68.79
	② 耐震相談会	回	1	1	1

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	国や県（補助金関係）、町関係各課（危機管理課や税務課）と連携を取りながら実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	平成24年度の行政評価を受け、耐震化事業を重点的に進めるゾーニング設定（緊急輸送道路沿い）を行い、優先的に耐震化を図っている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	住宅の耐震改修工事については、補助制度があるものの個人負担が多額になることがあり、耐震診断のみを実施するケースがある。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	必要最小限の経費で事業を進めている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	国の交付金や県の補助金を活用している。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	耐震化率が耐震改修促進計画の想定を下回っているため改善の余地はあると言えるが、少しずつ着実に向上してきているため「A」とした。
担当課による評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	耐震化の啓発について、「広報おいそ」やホームページへの掲載、チラシの全戸回覧及び耐震の無料相談会を開催する等の耐震PR活動に努めると共に、空き家対策と同時に住宅施策を行っていく必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	大磯町耐震改修促進計画の改訂を検討していく。
③ 平成28年度に着手する事項	平成27年度の成果を踏まえ、空き家対策と同時に耐震改修促進を進めていく。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月22日

空き家等の利活用を推進し、住宅の耐震化率の向上に努める。また昨年度に引き続き、大磯町耐震改修促進計画の見直しも合わせて進めていく。

予算事業名	都市交通推進事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	都市交通事業	係名	都市計画係
		事業番号	19
		事業開始年度	平成15年度

1.総合計画上の位置づけ

章	第5章 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
項	第2項 快適に移動できる交通基盤の推進	認定番号	—
節	第2節 生活交通	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	大磯町地域公共交通総合連携計画				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	1-1-15 都市交通推進事業				
目的 (何のために)	①路線バスの撤退が示された富士見地区(虫窪・黒岩・西久保地区)の公共交通の確保 ②公共交通の利用が不便な生活交通空白地域への新たな公共交通導入の検討				
対象 (誰を・何を)	①虫窪・黒岩・西久保地区住民及び同地区を目的地とする者 ②西小磯赤坂台地区				
内容	①平成14年の道路運送法改正にともなう富士見地区の路線バスの撤退申請を受け、生活交通確保対策事業により路線バスを維持し、併せて路線バスの運行では対応しきれない地域については、運賃無料の富士見地区コミュニティバスを運行していたが、平成24年4月より、二宮駅及び富士見地区まで乗り入れが可能な路線バス運行事業者による有償運行を開始 ②地域住民有志団体「西小磯東地区地域交通推進の会」とともに西小磯地区の公共交通について検討を継続				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	20,813	18,809	19,520
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円		2,354	
	一般財源	千円	20,813	16,455	19,520
	職員人数(概算職員数)	人	0.36	0.20	0.21
	人件費計 (b)	千円	2,206	1,226	1,253
	総事業費 (a)+(b)	千円	23,019	20,035	20,773
事業費内訳	生活交通確保対策事業補助金：19,520千円				
H 27 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 乗車人員	人/日	78	103	110
	②				
活動指標 (活動量)	① 運行便数	便	13	13	13
	②				
成果指標 (達成度等)	①				
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施主体は妥当か 住民からの要望であった、駅までのバスの乗り入れや有償運行による継続的なバス運行のため路線バス運行事業者が実施するのは妥当である。
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施手段は妥当か 地域の児童・生徒を集団登校させる必要性からバス車両による運行が妥当である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・意図した成果が得られているか 限られた便数の中で、地域の児童・生徒の登下校、買物や通院など当初意図としていた利用はなされている。
効率性	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストに対して効率的か バス事業者の不採算路線であった路線に対する補助であるため、コストに対する効率性については良いとは言えない。少しでも町の財政負担を減らす取り組みを行う必要がある。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストの削減等を図ったか 地域住民からは朝夕の通勤通学のための運行を望む声があり、1日の運行開始及び終了時間が決まっており、コスト削減は便数を減らすことにつながるため、図る余地は少ないが、地元住民の意識調査や運行データの精査によりダイヤの見直しは必要である。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
	評価理由 平成25年度にバスのダイヤ改正を行い、平成26年度から改正後のダイヤで運行している。その結果、バス利用状況は増加傾向にあるため、概ね成果が出ていると言える。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点
利用状況の調査を行い、運行方法の検討を引き続き行っていく。
② 平成27年度に着手する事項
バス運行に関する地元住民の意識調査や運行データの精査を行う。それらの結果次第では、ダイヤ改正などを行う。西小磯赤坂台地区を中心とした西小磯の一部地域に新たな公共交通の導入に向けた準備を進める。
③ 平成28年度に着手する事項
バス運行に関する地元住民の意識調査や運行データの精査を行う。それらの結果次第では、ダイヤ改正などを行う。西小磯赤坂台地区を中心とした西小磯の一部地域に新たな公共交通として乗合タクシーの実証運行を行う。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月22日

バス運行に関する運行データの精査を引き続き行いつつ、地域住民との話し合いの場を設け、バス利用者数の増加を目指す。
乗合タクシー実証運行を開始するとともに、本格運行に向け、利用者の意見や課題の抽出、運行データの精査を行う。

予算事業名	公園運営事務事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	公園緑地維持管理事業	係名	都市計画係
		事業番号	23
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第1項 身近な自然環境空間の形成	認定番号	—
節	第2節 公園・緑地	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	都市公園法、町都市公園条例				
個別計画等	大磯町緑の基本計画				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	町民のレクリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として公園の利用増進を図るとともに、自然景観を維持するため、緑地の維持管理を実施				
対象 (誰を・何を)	町内の都市公園・緑地（街区公園：42箇所、都市緑地：8箇所）				
内容	既設公園・緑地の清掃、除草、清掃ゴミの収集運搬、樹木剪定、遊具点検、修繕等の実施するとともに、公園利用者等からの要望や意見に対する対応等を行っている				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	16,997	21,645	22,059
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	105		116
	一般財源	千円	16,892	21,645	21,943
	職員人数 (概算職員数)	人	0.30	0.47	0.27
	人件費計 (b)	千円	1,724	2,880	1,612
	総事業費 (a)+(b)	千円	18,721	24,525	23,671
事業費内訳 H 27 年度	消耗品費：82千円 燃料費：122千円 光熱水費：2,300千円 修繕料：2,900千円 公用車定期点検：10千円 手数料：226千円 自動車損害保険料：12千円 管理委託料：15,000千円 保守委託料：389千円 用地借上料988千円 修繕用材料費：30千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 清掃対象公園緑地数	箇所	47	47	47
	② 要望等の件数	回	127	88	100
活動指標 (活動量)	① 清掃回数	件	988	1,000	1,000
	② 要望等の処理件数	回	118	77	100
成果指標 (達成度等)	① 1公園緑地当たりの年間清掃回数	件	21	22	21
	② 要望等の処理率	%	93	88	100

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	清掃・ゴミの運搬や樹木の剪定等を町内団体等へ委託している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	清掃業務等を町内の団体等へ委託することで、地域の実情に応じて、適正な維持管理が図られている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託することで、効率的な維持管理が図られている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	公園の清掃・ゴミの運搬を、町内団体（シルバー人材センター等）へ委託することで、コストの削減を図っている。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）		評価理由 決められた予算の範囲内で、既存公園等の維持管理業務を適正に行っている。 予算の削減に向けた業務改善等は必要
担当課による評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	既存公園の施設については老朽化が進んでいることから、安全・安心の観点から、遊具を含む公園施設の点検・修繕に重点的に取り組む必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	遊具を含む公園施設の点検・修繕。
③ 平成28年度に着手する事項	平成27年度の遊具点検結果を踏まえ、必要な修繕を行うとともに、トイレチェックシートなどを活用して清掃を行うことで、安全で快適な維持管理に努める。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月22日

平成27年度の公園遊具点検結果を踏まえ、町民に安全で安心して利用ができるように必要な修繕を行うとともに、施設や設置遊具の不具合に対する連絡等に迅速で柔軟に対応を行う。

予算事業名	運動公園維持管理事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	—	係名	都市計画係
		事業番号	24
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第1項 身近な自然環境空間の形成	認定番号	—
節	第2節 公園・緑地	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	都市公園法、町都市公園条例				
個別計画等	大磯運動公園施設長寿命化計画				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	町民のレクリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として利用増進を図るため				
対象 (誰を・何を)	大磯運動公園（野球場、多目的広場、テニスコート4面等）				
内容	町都市公園条例に基づき、指定管理者を指定し、運動公園の運営管理や自主事業の開催、公園施設の維持管理業務などを行っている				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	23,834	23,866	23,193
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	23,834	23,866	23,193
	職員人数 (概算職員数)	人	0.22	0.15	0.23
	人件費計 (b)	千円	1,348	919	1,373
	総事業費 (a)+(b)	千円	25,182	24,785	24,566
事業費内訳 H 27 年度	修繕料：600千円 通信運搬費：112千円 自動車損害保険料：30千円 管理委託料：22,425千円 使用料及び賃借料：26千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 有料施設の登録団体数	団体	1,953	2,000	2,050
	②				
活動指標 (活動量)	① 有料施設の利用者数	人	57,963	60,176	61,000
	② 自主事業のメニュー数	—	6	4	8
成果指標 (達成度等)	① 自主事業の参加人数	人	3,965	4,507	4,950
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	大磯町都市公園条例の指定管理者の指定の基準に基づき、適切に指定管理者を指定し、維持管理を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	大磯町都市公園条例に基づき、指定管理者制度により維持管理を図っている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	民間の事業者のノウハウを活用して、利用者の多様なニーズに応えた、質の高いサービスを提供している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	民間の事業者のノウハウを活用して、効果的・効率的な管理運営を図っている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	民間の事業者のノウハウを活用して、コストの削減を図っているが、指定管理料の削減に向けた取り組みが必要である。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	次期指定管理者の指定に当たり委託料削減の観点から選考が必要
担当課による 評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	自主事業の拡大などにより、利用者の拡大に取り組む。
② 平成27年度に着手する事項	平成28年度からの次期指定管理の選定作業を実施する。
③ 平成28年度に着手する事項	大磯運動公園施設長寿命化計画に基づき、改修を必要とする施設から順次着手していく。 新たな指定管理者による管理を行っていく。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月22日

平成28年度から平成33年度の指定管理者が決定。（株式会社ランナーズウェルネス） 大磯運動公園施設長寿命化計画に基づき、平成28年度は管理棟前噴水広場の改修、ウッドデッキの改修、コンクリート擁壁の改修を予定。

予算事業名	児童遊園維持管理事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	—	係名	都市計画係
		事業番号	25
		事業開始年度	昭和60年度

1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第1項 身近な自然環境空間の形成	認定番号	—
節	第2節 公園・緑地	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	町児童遊園条例、児童福祉法				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	児童のレクリエーション等の場として利用増進を図るため				
対象 (誰を・何を)	山王町児童遊園				
内容	児童遊園の清掃、除草、清掃ゴミの収集運搬、樹木剪定、遊具点検・修繕等の維持管理業務を実施するとともに、利用者等からの要望や意見に対する対応等。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	1,241	1,258	1,448
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,241	1,258	1,448
	職員人数 (概算職員数)	人	0.11	0.08	0.08
	人件費計 (b)	千円	674	490	478
	総事業費 (a)+(b)	千円	1,915	1,748	1,926
事業費内訳	消耗品費：4千円 光熱水費：65千円 修繕料：80千円 管理委託料：420千円 保守委託料：17千円 敷地借上料：862千円				
H 27 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 要望等の件数	件	18	4	10
	②				
活動指標 (活動量)	① 要望等の処理件数	件	15	3	10
	②				
成果指標 (達成度等)	① 要望等の処理率	%	83	75	100
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	清掃・ゴミの運搬や樹木の剪定等を町内団体等へ委託している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	清掃業務等を町内の団体等へ委託することで、地域の実情に応じて、適正な維持管理が図られている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託することで、効率的な維持管理が図られている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	公園の清掃・ゴミの運搬を、町内団体（シルバー人材センター）へ委託することで、コストの削減を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	必要最低限の予算で、既存公園の維持管理業務を適正に行っている。
担当課による 評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	既存公園の施設については老朽化が進んでいることから、安全・安心の観点から、遊具を含む公園施設の点検・修繕に重点的に取り組む必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	遊具を含む公園施設の点検・修繕。
③ 平成28年度に着手する事項	平成27年度の遊具点検結果を踏まえ、必要な修繕を行うとともに、トイレチェックシートなどを活用して清掃を行うことで、安全で快適な維持管理に努める。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月22日

就学前の児童の利用が多いことから、施設の遊具の不具合による事故等に万全に備え、併せて日常の利用に対してより清潔な環境づくりに配慮する。

予算事業名	花とみどり推進事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	花とみどり推進事業	係名	都市計画係
		事業番号	30
		事業開始年度	平成21年度

1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第1項 身近な自然環境空間の形成	認定番号	—
節	第2節 公園・緑地	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町いけがき設置奨励事業補助金交付要綱、大磯町シンボルツリー奨励事業補助金交付要綱 大磯町花いっぱい運動推進要綱				
個別計画等	大磯町緑の基本計画				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	いけがき設置やシンボルツリー植栽による敷地内緑化による良好な景観形成の推進 町民等によるボランティア団体が主体となって花や緑の植栽の維持管理等の活動に参加することにより、 花に親しむ機会を拡大するとともに、心のやすらぎと美化意識の高揚を図るために行う大磯町花いっぱい運 動の推進				
対象 (誰を・何を)	いけがき設置、シンボルツリー植栽及び花いっぱい運動に要する経費				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内に植栽するシンボルツリーに対する費用の助成 ・敷地外構にいけがきを設置するために要する経費の助成 ・ボランティア団体による花いっぱい運動に要する経費の補助 				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	537	575	563
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	537	575	563
	職員人数 (概算職員数)	人	0.12	0.14	0.09
	人件費計 (b)	千円	431	858	537
総事業費 (a)+(b)	千円	968	1,433	1,100	
事業費内訳 H 27 年度	いけがき設置奨励事業費補助金：90千円 シンボルツリー条例事業補助金：100千円 花いっぱい運動事業交付金等：190千円 役務費：23千円 需用費：158千円 旅費：2千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① いけがき、シンボルツリー申請件数	件	4	4	10
	② 花いっぱい運動団体数	件	7	7	8
活動指標 (活動量)	① いけがき延長/シンボルツリー本数	m/本	0/4	17/3	30/6
	② 緑化面積	m ²	47.18	47	57
成果指標 (達成度等)	①				
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施主体は妥当か 町民等からの申請により都市計画課にて審査を行い、補助金の交付等を行っている。
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施手段は妥当か 各要綱に適合しているものについて、規定の補助金の交付等を行っている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・意図した成果が得られているか いけがき設置については、1～3件/年で横ばい状況で、シンボルツリーについては、減少傾向にある。 花いっぱい運動については、着実に登録団体が増えており、町内の緑化に寄与している。
効率性	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストに対して効率的か 花いっぱい運動に要する経費については、ボランティア団体に対する花苗の配布のみであるため、効率的である。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストの削減等を図ったか 年間の申請件数が伸び悩んでいるため、ホームページや広報等で制度の周知を行い、町内緑化の推進を行う必要がある。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
	評価理由 経費は少ないが、緑化推進としての一定の効果は得られている。 今後、積極的な周知を図ることにより制度の充実を図る必要がある。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点
緑化の推進に関するこれらの制度を体系的に位置づけるとともに、町のホームページなどにより積極的に周知を図っていく。
② 平成27年度に着手する事項
制度の周知（ホームページや広報など）
③ 平成28年度に着手する事項
平成26年1月に制定した「大磯町緑化の推進及び緑の保全に関する条例」に基づき、ホームページや広報などにより積極的に周知を図っていく。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月22日

町が実施している緑化推進事業の内容について、より住民に周知を図るように努める。

予算事業名	松くい虫被害対策自主事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	—	係名	都市計画係
		事業番号	38
		事業開始年度	昭和57年度

1.総合計画上の位置づけ

章	—	総合計画実施計画	
項	—	認定番号	—
節	—	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	森林病虫害防除法				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	優れた風致景観と防風等の機能を有している松の保全				
対象 (誰を・何を)	松くい虫被害対策自主事業計画に基づいた松				
内容	松くい虫被害の予防対策として樹幹注入、松くい虫の駆除対策として特別伐倒を委託により実施				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	2,109	687	3,842
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	1,081	260	3,140
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	942	427	702
	職員人数 (概算職員数)	人	0.11	0.14	0.19
	人件費計 (b)	千円	674	858	1,134
総事業費 (a)+(b)	千円	2,783	1,545	4,976	
事業費内訳	松くい虫被害対策委託料：3,734千円 苗木代：108千円				
H 27 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 枯松の本数	本	42	50	50
	② 計画対象の松	本	51	0	95
活動指標 (活動量)	① 特別伐倒の本数	本	42	50	50
	② 樹幹注入対策の本数	本	51	0	95
成果指標 (達成度等)	① 対策実施率 (伐倒)	%	100	100	100
	② 対策実施率 (樹幹注入)	%	100	100	100

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	現地調査や実施計画の作成は職員が行い、実施計画に基づく対策は専門業者が実施しており、実施主体は妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	樹幹注入や駆除対策である特別伐倒といった松くいに関する専門的な知識と技術力が必要な対策について専門業者に委託しており、実施手段は妥当である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	専門業者への委託により、適正な対策を実施しているが、松枯れ量はやや増加する傾向にある。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	予防的な対策（樹幹注入）を行うことで、松くい虫の被害の拡大を事前に防いでいる。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	駆除対策である特別伐倒に加え、予防的な対策（樹幹注入）を行うことで、松くい虫の被害の拡大を事前に防いでいるが、松枯れ量はやや増加する傾向にある。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	決められた予算の範囲内で、松くい虫対策を適正に行っている。今後抵抗性松の植栽に重心を置いた事業展開を検討する。
担当課による 評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	第四次事業計画に基づき、引き続き松の保全に取り組んでいく。
② 平成27年度に着手する事項	なし。
③ 平成28年度に着手する事項	実施計画に基づき、予防対策（樹幹注入）を行うとともに、枯れ松を駆除することで、引き続き松の保全に取り組む。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月22日

実施計画に基づき、樹幹注入、枯れ松の伐倒を行うことで、引き続き松の保全に取り組む。とともに抵抗性松の植栽を行い松くい虫に強い松林を形成する。
--